

SOAT・にじいろぱれっと・心の復興



発表会

H30年1月13日～2月4日

「一本の糸からはじまる物語」

織物は古代から世界中で実用性、記録、美的追求として作られています。また織る行為は様々な神話で人生のメタファー（隠喩）として使われています。

思い起こせば生まれて最初に触れる素材も布であり生活に欠かすことのできない素材です。

多くの織物は縦糸と横糸で出来ています。今回の裂き織りプロジェクトは縦に張った糸に切った布を横糸として織り込み制作を続けています。時間をかけて少しずつ下面から成長する裂き織布は予想もしない形、色彩が生まれます。

1/13(土)・14(日)
AM12時～PM7時 AM10時～PM6時
せんだいメディアテーク
1F オープンスクエア
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
TEL:022-713-3171

◎ワークショップ開催時間
1/13(土) PM1時～PM3時
1/14(日) AM10時～PM3時
(参加費無料、一日先着100名)

1/18(木)～21(日)
AM10時～PM6時(最終日PM4時迄)
東京学芸大学
美術棟ギャラリー
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1
TEL:042-329-7589(花澤研究室)

◎ワークショップ開催時間
1/18(木)～21(日) AM11時～PM3時
(参加費無料、一日先着100名)

1/26(金)～2/4(日)
AM10時～PM9時
ララガーデン長町
1F ひかりの広場
〒982-0011 仙台市太白区長町7-20-5
TEL:022-399-7700

◎ワークショップ開催時間(裂き織り体験のみ)
1/27(土)、28(日) ①AM10時半 ②PM13時半
(参加費無料、各日先着30名)

展示*内容
・活動パネル・写真
・共同制作オブジェ・作品
・無料ワークショップ開催
(対象:子どもから大人まで)

SOATの想い

3・11から6年、時の経過ごとに度重なる移住や復興工事の長期化などで地域の抱えているストレス、コミュニティ問題などの変化により支援のニーズも変わってきています。本事業では、アートワークショップの開催によって地域の皆さんが楽しく世代に関わらず一緒に、いつまでも希望を持って活躍できる環境作りを行いたい。「被災者の生きがい作り」「被災者の心のケア」「地域コミュニティ作り」「震災の風化防止」「伝承文化の継承」「支援者支援」に繋がりたい。その想いを大切にしています。



ワークショップ開催

会場では《心をつなぐメッセージ》や《裂き織り体験》ワークショップを行います。どちらも岩手、宮城、福島の方々の使用した糸、布を使用します。皆さんの作った作品は「みの」に繋がります、作品は日々成長していきます。

《心をつなぐメッセージ》

様々な布を選んで自由な形に切り取りメッセージやドロ잉をマジックで描きます。それを展示の「みの」作品内側に安全ピンで取り付けていきます。

《裂き織り体験》

岩手、宮城、福島の方々と同じように簡易はたおり機で裂き織りを体験します。布を選んで緯糸作りからの制作もできます。出来た裂き織りは持ち帰りも可能ですが、展示の「みの」作品に繋ぐ事もできます。



復興庁H29年度「心の復興」事業被災者支援事業計画

【参加団体】 岩手県:小木いきがいくらぶ、特定非営利活動法人ついで・大橋こども夢ハウス/宮城県:石巻市北上子育て支援センター・相川保育所、石巻市河南子育て支援センター・ハブラ、石巻市瀬波子育て支援センター、石巻地域若者サポートステーション(特定非営利活動法人ワークスコープ)/福島県:特定非営利活動法人 みんぶく、川内村教育委員会、浪江町コスモスふれあいセンター

【協力・協賛】 東京学芸大学花澤研究室、株式会社アクタス、ララガーデン長町、H29年度被災者支援コーディネート事業(復興庁)

【名義後援】 宮城県、仙台市、公益財団法人宮城県文化振興財団、NHK仙台放送局、TBC東北放送、KHB東日本放送、ミヤギテレビ、仙台放送、河北新報社、朝日新聞仙台総局、読売新聞東北総局、岩手日報社、福島民友新聞社、福島民報社、福島テレビ、山形新聞・山形放送、毎日新聞仙台支局

【主催】 特定非営利活動法人 東北の造形作家を支援する会(略称:SOAT)

【お問合わせ】

NPO法人 東北の造形作家を支援する会(略称:SOAT) ● Supporting Organization for Artists of Tohoku
〒989-3128 宮城県仙台市青葉区愛子中央3丁目14-2 Tel 022-398-8844 Fax 022-398-8845 E-mail head@soat.jp http://www.soat.jp/
SOATは東北に縁のある造形作家の創作及び発表活動・子どもの育成、地域社会の芸術文化向上に寄与することを目的としたNPO法人です。

「みの」共同制作&にじいろぱれっとワークショップ 参加団体のご紹介

宮城県

石巻市北上子育て支援センター・相川保育所



壊滅的な被害を受けた北上地区。高台に建設され3.11の翌月4月に開所予定だった施設は被害を免れ半年間避難所となっていました。現在は保育所の子どもたち、子育て支援センターを利用するお母さんと未就学児が、浜っ子パワーで元気に活動しています。

石巻市渡波子育て支援センター



復興公営住宅等が新しく整備された地域で、子育てを頑張るお母さんと未就学児をサポートしています。利用者が気軽に交流・相談できる雰囲気、物作りを通して新たなコミュニケーションも生まれました。

石巻地域若者サポートステーション (特定非営利活動法人ワーカーズコープ)



石巻地域の若者の自立と就労支援を行っています。ともに働き、ともに生きる、地域を作る。協同労働。生活のトータルを支えあう仕事おこしとまちづくり。新しい地域福祉、働くをコーディネートしていきます。

福島県

浪江町交流館 コスモスふれあいセンター



未だ帰還困難区域の残る浪江町から避難している住民の交流・親睦を目的として平成27年に開設され、サークル等の活動を通して生きがい作りやコミュニティの場作りを行っています。物作りが得意な女性達が集い、布や粘土などを使って様々な作品に取り組んでいます。

「みの」作品コンセプト

みの・蓑は昔から各地で身近にある自然素材を編むことで作られ環境から暖かく身を守ります。岩手、宮城、福島の方々の作った一つ一つの裂き織布は皆で話し合い繋ぎ縫い合せて「みの」作品となっています。織る、縫う活動を共にする事は其々の地域で制作した人々の時間、経験を暖かく包み記憶します。(デザイン:クリスティヌ・ブレ)

「みの」共同制作

- 《岩手みの》小本いきがいくらぶ、大槌こども夢ハウス
- 《宮城みの》石巻市北上子育て支援センター・相川保育所、石巻市渡波子育て支援センター、石巻地域若者サポートステーション
- 《福島みの》郡山市・本宮市 復興公営住宅の皆さん
- 《川内みの》川内村の皆さん

アクセス



せんだいメディアテーク
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
TEL: 022-713-3171

- ・仙台駅より約20分
- ・地下鉄南1線 勾当台公園駅下車「公園2」出口から徒歩6分
- ・仙台市営バス「定禅寺通市役所前経由交通局大学院」行き約10分、メディアテーク前下車



岩手県

小本いきがいくらぶ



東日本大震災の地震・津波で甚大な被害を受け、少子高齢化が進んでいる岩泉町小本地区。地元の自治体を中心に物作りや運動など様々な活動を通して、住民の健康作りとコミュニティ作りを行っています。

大槌こども夢ハウス (特定非営利活動法人つどい)



地域コミュニティに開かれた「場」「居場所」を創り、地域を活性化をサポートしています。子どもたち～高齢者、多様な地域の人々が集まり、動き出す仕組みを作り出すため、遊びや興味等をきっかけとして自己の持っている力や住民活動の創出を行っています。

宮城県

石巻市河南子育て支援センター・パパラ



多くのボランティアと共に子育てのサロンやサークル支援などの活動を行っています。未だ仮設住宅が残る環境の中、多くの地区から集まる利用者の為に、物作りなど新しい企画にも積極的に取り組んでいます。

福島県

郡山市・本宮市 復興公営住宅 (特定非営利活動法人みんぶく)



震災と原発事故被害による避難者を支援するNPO法人みんぶくは、復興公営住宅を中心とする生活拠点のコミュニティ形成支援を行っています。大熊町、双葉町、富岡町、浪江町等の原発事故被害地域からの避難者が多い郡山市・本宮市の復興公営住宅の皆さんが参加しました。

福島県

川内村コミュニティセンター/なかよし館



自然豊かな川内村は平成23年9月以降に緊急時避難準備区域が解除され、平成24年1月に帰村宣言、同年3月に役場を村に戻し帰村を始めました。平成28年6月に避難指示が全域解除になり、現在の全体帰還率は震災前の8割に回復しているものの、少子高齢化やコミュニティ形成、自然環境への制限など課題が残っています。

協力アーティスト

Christine Pellé クリスティヌ・ブレ (美術家)

フランス生まれ。1992年パリソルボンヌ大学大学院芸術学修士課程修了。2000年東京藝術大学大学院美術研究科博士課程修了 博士号取得。現在浦和大学非常勤講師。国内外で個展、グループ展多くの展示を行い、多くの舞台美術を手がける。また創作活動を通じたワークショップ活動を多数実施。

Hanazawa Yota 花澤洋太 (美術家)

東京都生まれ。1993年東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了。1996年東京藝術大学大学院美術研究科博士課程満期退学。現在東京学芸大学 芸術・スポーツ学系美術・書道講座 美術分野 美術科教室 准教授。個展、グループ展多くの展示を行う。また創作活動を通じたワークショップ活動を多数実施。3.11以降、SOATと共に被災地においてワークショップ活動を継続。



東京学芸大学 芸術・スポーツ科学系4号館1F 美術棟ギャラリー
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1
TEL: 042-329-7589 (花澤研究室)

- ・JR 武蔵小金井駅・北口より京王バス乗車、「小平団地」行に乗車、約10分「学芸大正門」下車
- ・「中大循環」に乗車、約10分「学芸大東門」下車
- ・JR 国分寺駅より銀河鉄道バス乗車「小平駅南口」行に乗車、約10分「学芸大学」下車
- ・西武新宿線小平駅南口より銀河鉄道バス乗車「国分寺駅入口」行に乗車、約15分「学芸大学」下車



ララガーデン長町
〒982-0011 仙台市太白区長町7-20-5
TEL: 022-399-7700

- ・仙台市営地下鉄南北線「長町南駅」直結
- ・JR「長町駅」下車 徒歩9分
- ・仙台市営バス・宮城交通路線バス「長町南駅・太白区役所前」下車